

# 眼振電図検査

(眼の動きを詳しくみる検査)

検査時間  
90分

## ○目的

めまいの程度や障害部位を詳しく調べる検査です。

①視標追跡検査 ②視運動性眼振検査 ③温度刺激検査  
を行い、脳(中枢)や内耳のどこの障害でめまいが起きているのかを調べます。

## ○方法

顔の5個所に電極を貼り器械を使って眼の動きを詳しく観察・記録します。(写真1)



写真1 眼振電図の電極位置

※検査中に具合が悪くなった場合は無理をせず検査員に申し出て下さい。

## ① 視標追跡検査

### ○目的

主に小脳などの中枢機能を調べます。

### ○方法

赤い点が左右に往復します。

顔を動かさないように眼だけで点を追い  
眼がなめらかに動くかを調べます。

(写真2)



写真2 視標追跡検査

## ② 視運動性眼振検査

### ○目的

主に脳幹などの中枢機能を調べます。

### ○方法

白い線が横に流れます。

顔を動かさないように眼だけで白い線を  
次々に見てもらい、眼が素早く動くかを  
調べます。(写真3)

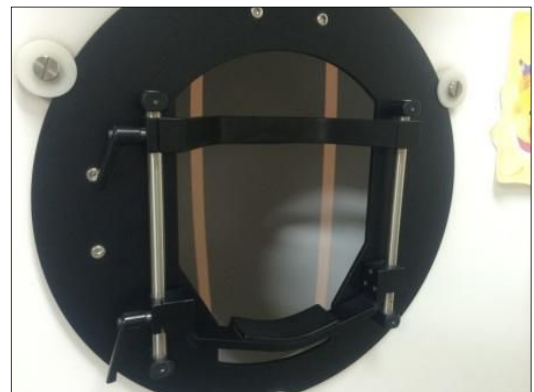


写真3 視運動性眼振検査

### ③ 温度刺激検査

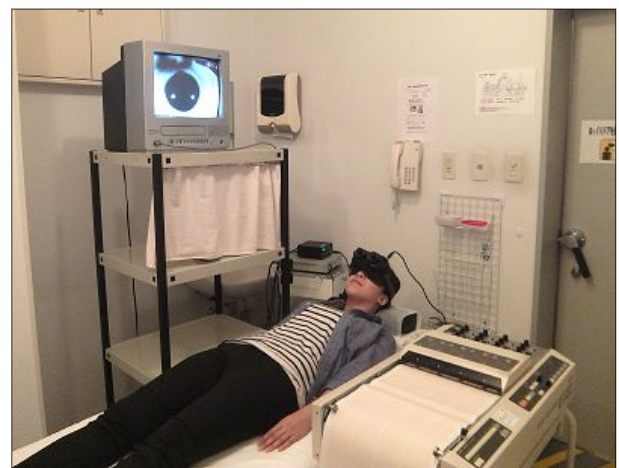
#### ○目的

主に体のバランスを保っている半規管などの内耳機能を調べます。  
耳の中に冷たい空気を入れて外耳道を冷やすことにより、めまいが現れるかを調べます。

#### ○方法

1. ベッドにあおむけになり(写真4)、片耳に冷たい空気を1分間入れます。
2. 冷たい空気を入れる事で、誘発されるめまいが治まるまで眼を開けてもらいます。  
※場合によっては、さらに冷たい空気を入れて、もう一度検査することもあります。
3. 少し休憩してから同様に反対側の検査も行います。

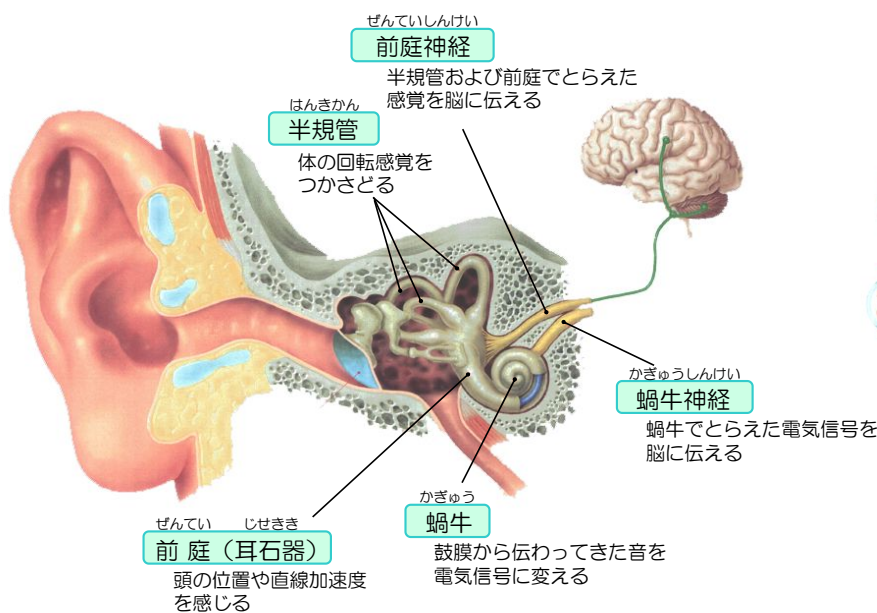
写真4 温度刺激検査



※めまいの感じ方には個人差がありますがおよそ1～2分で治まります。

※この検査で中耳炎を引き起こしたり聞こえが悪くなることはありません。

#### 《耳の解剖図》



#### 《脳の解剖図》

